

### 3 筆順を正しく習得させる指導について (1・2年)

【筆順の原則（低学年）】

筆順は、先人の知恵と経験から生まれたものであり、書きやすく、形を整えやすく、読み誤られることがなく、覚えやすい筆運びの順序である。

同じ部首や部分では、ほぼ同じ順序で書かれているが、文字によっては幾通りかの筆順が存在しているものもある。従って、必ずしもこれが正しく、それ以外は誤りであるとはいえない面もある。

筆順指導は、昭和三十三年三月に発行された「筆順指導の手引き」(文部省)によって指導されてきたが、昭和五十二年より教科書検定基準として「漢字の筆順は、原則として一般に通用している常識的なものによつてゐること」とされた。

以下に低学年における一般的な筆順指導のあり方について記す。

	6	5	4	3	2	1
		しんじょうは最後	外から内へ	*横画と縦画 *横画が先	左から右へ	上から下へ
中	近	国	十	川	三	
書	遠	凶	牛		言	
	道	円				
		園	長	*縦画が先	*左の部分から右の部分へ	*上の部分から下の部分へ
母			馬	引	岩	
毎				校	高	
	*真ん中を突き抜けるたて画は最後					
	*字のまとまりを横から突き抜ける画は最後					